

和歌山県立近代美術館

年 報

昭和 57 年 度

昭和 57 年度

和歌山県立近代美術館年報

目 次

1 主要行事	2
2 主催展覧会	3
企画展「和歌山の作家たちⅠ」	3
〃 「和歌山の作家たちⅡ」	4
〃 「和歌山の作家たちⅢ」	6
〃 「現代版画の 8 人」	7
〃 「和歌山の作家たちⅣ」	8
〃 「新収蔵作品を中心として」	9
特別展「イタリア美術の一世紀展」《1880—1980》	11
〃 「稗田一穂展」	15
3 共催展覧会	18
4 貸館展覧会	19
5 普及活動	21
6 昭和57年度所蔵作品	24
7 所蔵品貸出状況	30
8 県立近代美術館協議会委員	31
9 県立近代美術館職員構成	31

1. 主要行事

〈昭和57年度〉

4月1日～4月25日	企画展「和歌山の作家たちⅠ」
4月29日～5月16日	企画展「和歌山の作家たちⅡ」
5月20日～6月7日	企画展「和歌山の作家たちⅢ」
6月17日～7月5日	第20回和歌山県美術家協会展
	第1期 6月17日～6月21日 〈洋画・彫塑・写真〉
	第2期 6月24日～6月28日 〈生花・日本画・書・工芸〉
	串本展 7月2日～7月5日 〈各部門選抜〉
7月1日～7月11日	企画展「現在版画の8人」
7月14日～8月8日	特別展「イタリア美術の一世紀展」《1880—1980》
8月12日～8月23日	企画展「和歌山の作家たちⅣ」
10月2日～10月25日	特別展「稗田一穂展」
11月11日～12月13日	第36回和歌山県美術展覧会
	第1期 11月11日～11月15日 〈生花・書・彫塑〉
	第2期 11月18日～11月22日 〈日本画・写真・工芸〉
	第3期 11月25日～11月29日 〈洋画〉
	新宮展 12月11日～12月13日 〈生花を除く各部門選抜〉
1月6日～2月13日	企画展「館蔵作品展——新収蔵作品を中心として——」
2月17日～2月21日	第17回県立近代美術館友の会展
3月10日～3月13日	移動美術館「橋本展」

2. 主催展覧会

○ 企画展「和歌山の作家たちⅠ」

会期 4月1日～4月25日（毎週火曜日休館）

当館所蔵作品のうちから石垣栄太郎、木下孝則、木下義謙、原勝四郎、保田龍門など、本県と深いつながりを持つ作家を中心に展示した。特に木下義謙については、コーナーを設けて、初期から近作にいたる代表作を展示し広く一般に展観した。（入場者 1,356人）

出品目録

No.	作者	作品名	材質・形状	寸法	制作年
1	石垣栄太郎	自画像	油彩・キャンバス	41.3×32.3	1917
2	〃	街	〃	123.5×87.5	1925
3	〃	拳闘	〃	75.2×91.3	〃
4	〃	ボーナス・マーチ	〃	144.5×106.0	1932
5	〃	女の肖像	〃	35.2×28.1	1936
6	木下 孝則	マダム・オコノエ	〃	40.9×31.8	1921～23頃
7	〃	後向きの裸女習作	〃	100.2×80.0	1925
8	〃	女優の像	〃	91.0×73.0	1926
9	〃	K男爵夫人像	〃	91.3×72.8	〃
10	〃	赤衣の女	〃	71.5×51.0	1934
11	〃	A氏像	〃	52.7×45.6	1949
12	〃	バラ	〃	33.0×24.0	1963頃
13	木下 雅子	肘をつく女	〃	72.7×60.6	1929
14	〃	玉葱の静物	〃	60.6×72.7	1930
15	〃	浴後	〃	112.0×162.0	1933
16	〃	A嬢の肖像	〃	45.5×38.2	〃
17	〃	カーネーションと裸女	〃	112.0×145.5	1934
18	〃	坐せる裸女	〃	72.7×60.6	〃
19	木下 義謙	読書の母	〃	40.9×31.8	1922
20	〃	同窓	〃	73.0×60.5	1924
21	〃	少年の像	〃	53.0×45.5	1925
22	〃	横向きの婦人像	〃	73.0×60.5	〃
23	〃	父の肖像	〃	65.0×50.0	1926
24	〃	N氏の肖像	〃	〃	〃
25	〃	横たわれる裸体の習作	〃	73.0×116.5	〃
26	〃	車内のロシア軍人	〃	41.0×31.5	1928
27	〃	坐せる婦人像	〃	80.5×53.0	〃
28	〃	風景（バルコン）	〃	41.0×31.5	1928頃
29	〃	カーニュ風景	〃	60.5×72.5	1929
30	〃	婦人像	油彩・カルトン	41.0×32.0	〃
31	〃	アカデミー（男）	油彩・キャンバス	45.5×38.0	1930
32	〃	裸体習作（二人の裸女）	〃	53.0×33.5	1931
33	〃	静物	〃	73.0×91.0	〃
34	〃	赤衣半身像	〃	91.0×73.0	〃

35	木下 義謙	横光線の肖像	油彩・キャンバス	91.0×73.0	1935
36	"	ふじざくらの下にて	"	112.0×145.5	1938
37	"	森林地帯緑陰	"	130.0×162.0	1968
38	"	峠道よりの眺め	"	112.0×162.0	1973
39	神中 糸子	海岸風景	"	38.0×80.4	1888~92頃
40	"	牡丹	"	50.4×61.0	1915~25頃
41	碓 伊之助	ブザンソン風景	"	50.1×60.8	1924
42	"	遠眼鏡	"	40.8×33.0	1934
43	原 勝四郎	母子像	油彩・カルトン	65.2×53.0	1930
44	"	裸 婦	"	72.3×60.0	"
45	"	画工像	"	64.8×52.4	1932
46	"	瀬戸風景	"	65.0×53.0	1935
47	"	小 湾	"	58.3×70.5	1940
48	"	道 化	"	89.9×72.8	1941
49	"	婦人像	"	73.0×60.0	1953
50	"	裸 婦	油彩・キャンバス	51.0×63.0	1960頃
51	ヘンリー杉本	カーメルハイランド風景	"	80.5×100.0	1937
52	"	寺院のみえるビーエー村	"	79.0×99.0	1940
53	"	セーヌ河畔	"	91.5×73.0	1963
54	"	パン配達娘	"	90.0×70.0	"
55	"	モレー洗濯場	"	90.0×71.0	1964
56	保田 龍門	自画像	"	45.5×37.5	1915
57	"	村の娘	"	82.5×67.0	1916
58	"	読 書	"	65.0×53.0	1921
59	"	老婦人像	"	60.5×44.5	1921~23頃
60	"	バリ風景	"	46.0×53.8	1922
61	"	満州風景	"	45.5×53.0	1931

○ 企画展「和歌山の作家たちII」

会 期 4月29日～5月16日（毎週火曜日休館）

本県出身の川口軌外（1892～1966）は、昭和の洋画史において正統な近代絵画を追求した作家として著名であるが、今回は軌外の芸術生涯を紹介するため、生涯における主要な作品を展示した。

（入場者 996人）

出品目録

No.	作 品 名	材 質 ・ 形 状	寸 法	制作年
1	裸 婦	油彩・キャンバス	64.0×79.0	1917
2	少 女	"	65.0×53.0	1920~23頃
3	婦人像	"	59.5×49.5	"
4	風 景	"	45.5×53.0	"
5	風 景	"	64.7×80.0	1924頃
6	窓辺の静物	"	80.0×65.0	1924~26頃
7	水差しのある静物	"	"	1925
8	裸婦群像	"	87.8×95.0	"
9	風 景	"	65.5×80.5	"
10	仰臥裸婦	"	60.5×80.5	1926頃
11	坐する女	"	116.5×72.7	1927

12	写 像	油彩・キャンバス	116.5×90.5	1927
13	老 人	"	115.0×72.9	1927~29頃
14	シルク	"	116.5×80.5	"
15	黄 壁	"	59.6×72.6	"
16	静 物	"	72.7×60.5	"
17	半 身	"	91.5×73.0	1927~29頃
18	臥す女	"	81.2×115.9	"
19	ボヘミアン	"	116.5×80.3	1928
20	バナナのある静物	"	90.6×72.5	"
21	車のある静物	"	73.4×116.5	"
22	スプニール	"	116.5×80.4	1932
23	地 維	"	154.5×193.1	"
24	花	"	115.5×90.0	"
25	少女と貝殻	"	167.0×267.0	1934
26	無 題	"	162.0×112.5	1935
27	貝 殻	"	80.3×115.5	1936
28	エスキース B	"	162.0×130.5	1937
29	少女と子供	"	116.5×91.0	"
30	二 婦	"	162.0×130.5	1939
31	魚 商	"	91.0×116.5	1939頃
32	夏の海	"	166.0×266.5	1940
33	熊野灘	"	130.5×162.0	"
34	ひまわり	"	72.9×91.0	1943
35	貝 殻	"	111.5×145.0	1951
36	花	"	100.0×72.5	1952
37	日傘と人	"	116.3×90.3	1953
38	COMPOSITION	"	116.7×80.0	"
39	夏の浜にて	"	116.7×91.0	1955
40	構 図	"	117.0×80.5	1956
41	集 団	"	160.5×112.5	"
42	人 体	"	89.4×130.5	1957
43	港	"	117.2×80.2	"
44	三つのポーズ	"	162.0×130.5	1959
45	水浴の人々	"	117.0×80.5	1960
46	作 品	"	162.0×130.5	1961
47	顔のある木	"	116.5×80.5	1962
48	鳥	"	162.0×130.5	1963
49	魚を売る婦	紙・グワッシュ	32.8×48.2	1927~28
50	母と子	"	65.3×50.2	1927~30
51	牛	"	51.5×66.2	"
52	失 題	"	49.8×65.0	1927~28
53	風 景	"	33.4×51.4	1924~28
54	ライオンと犬	"	25.8×32.8	1927~29

○ 企画展「和歌山の作家たちⅢ」

会 期 5月20日～6月6日（毎週火曜日休館）

当館所蔵品のうちから、シュールレアリズムやアクションペインティング、アブストラクトアート等、戦後美術の多様な展開をみせた3人、高井貞二・村井正誠・玉置正敏の作品を展示した。

（入場者 998人）

出品目録

No.	作者	作品名	材質・形状	寸法	制作年
1	高井 貞二	Landscape of my Country	油彩・キャンバス	102.3×137.2	1956
2	"	Composition yellow	"	116.0× 78.0	1958
3	"	食 う	"	162.7×132.0	"
4	"	Back to my Home	"	132.2×190.5	1959
5	"	情 熱	"	127.0×127.0	"
6	"	Dream	"	183.3×136.4	1960
7	"	ブルー	"	132.0×174.0	"
8	"	こころのコンポジション	"	175.4×135.5	1961
9	"	コンポジション A	"	111.0×133.9	"
10	"	MURASAKI	"	136.9×132.1	1962
11	"	Four Fishes	"	132.1×187.3	1963
12	"	赤い魚	"	127.3×127.0	1965
13	"	太 陽	"	184.0×133.6	"
14	"	スリーサークル	"	132.8×177.8	1968
15	"	ユニセックス	"	132.1×171.5	"
16	村井 正誠	水 浴	"	100.0× 81.2	1930
17	"	ポウトレ・アラブ	"	73.0× 61.0	"
18	"	姉 妹	"	100.2× 80.3	"
19	"	ゴルフジュアンの朝	"	145.6×112.3	1934
20	"	パンチュール No.3	"	113.4×194.2	"
21	"	アカデミア・ベル・アルチ	"	81.3×130.0	"
22	"	URBAIN No.1	"	111.8×193.7	1936
23	"	母と子	"	162.1×130.2	1952
24	"	母子像	"	145.2×112.4	1954
25	"	座っている人	"	161.9×130.5	1958
26	"	黒い線	"	193.0×259.0	1962
27	"	風の中の除幕式	"	"	1968
28	"	自画像（太い線）	"	162.1×130.3	1974
29	玉置 正敏	喪失する室内	"	97.0×130.0	1952
30	"	三角くじを喰べる男達	"	116.0× 91.0	1953
31	"	赤い時計のある室内	"	130.5×161.5	1954
32	"	ヘラクレスを喰べる大蛇	"	162.0×130.0	1958
33	"	A SCENE	"	97.0×130.0	1965
34	"	文字のないプラカード	"	130.0× 97.0	1967
35	"	偉大なる朝食	"	130.5×193.5	1973
36	"	静かなる日	"	91.5×116.5	1975
37	"	或る会議	"	73.0×116.5	1978
38	"	叫 び	"	73.0× 90.5	"

39	玉置 正敏	飛びだしたゼノンの矢	油彩・キャンバス	162.0×260.0	1979
40	"	汗	"	182.0×227.0	1980

〔版画〕

41	村井 正誠	三本の木	紙・石版	69.0× 48.5	1962
42	"	二 人	紙・木版	61.0× 46.0	1963
43	"	天 使	"	63.0× 46.0	"
44	"	夜の人	紙・石版	62.0× 48.0	1964
45	"	泉	"	63.0× 52.0	1965
46	"	人	紙・シルクスクリーン	62.0× 44.0	1974
47	"	人	紙・木版	62.0× 42.0	1975

○ 企画展「現代版画の8人」

会 期 7月1日～7月11日（毎週火曜日休館）

わが国の版画史の上で大きな転換期となった1950年代後半以降に活躍を始めた作家8人の作品を展示した。（入場者 390人）

出品目録

No.	作者	作品名	材質・形状	寸法	制作年
1	吉原 英雄	五月の出来事	紙・リトグラフ	53.5× 40.0	1966
2	"	彼女は空へ	紙・リトグラフ・エッチング・アグアチント併用	72.0×104.0	1968
3	"	シーソー I	紙・リトグラフ	100.0×100.0	"
4	"	プロポーズ	"	68.0× 52.0	1969
5	"	ミラー・オブ・ミラー K	"	70.0×100.0	1972
6	木村 光佑	OUT OF TIME-24	アクリル・紙・リトグラフ シルクスクリーン併用	76.5× 54.5	1970
7	"	" -25	"	"	"
8	"	" -26	"	"	"
9	"	現在位置——存在（A）	紙・リトグラフ・シルクスクリーン	73.5×103.0	1971
10	"	"（C）	"	"	"
11	野田 哲也	日記1970年5月21日（b）	紙・木版・シルクスクリーン	44.5× 44.7	1970
12	"	日記1971年7月5日	"	45.0× 45.0	1971
13	"	日記1977年3月3日（b）	"	45.0× 64.5	1977
14	"	日記1980年9月6日	"	44.7× 64.3	1981
15	齋藤 智	UNTITLED C	紙・シルクスクリーン	56.5× 70.0	1976
16	"	UNTITLED 79-A	"	74.0× 71.0	1979
17	李 禹 煥	関係項-A	紙・木版	73.0×106.0	1979
18	"	"	"	"	"
19	小野木 学	風景（脈）E	紙・シルクスクリーン	57.0× 57.0	1968
20	"	風景（光源）A	"	"	"
21	"	風景 H.A	"	70.5× 57.5	1969
22	"	風景 706	"	57.0× 57.0	1970
23	"	風景 N.E.P	"	49.0× 36.0	1972
24	"	風景 L.U.D	"	57.5× 57.5	1975
25	中林 忠良	剝離される風景花宴	紙・エッチング・アグアチント・メソチント	42.3× 51.7	1972
26	"	剝離される風景 III	"	55.0× 50.0	"
27	"	夜の碑	"	45.5× 57.0	1974
28	"	暗黒の譜	"	"	"

29	中林 忠良	囚われる日々 VII	紙・エッチング・アクアチント	45.5×57.0	1974
30	"	Transposition—転位 I	紙・エッチング・アクアチント	50.0×50.0	1978
31	"	" —転位 III	"	57.0×45.0	1979
32	黒崎 彰	我らを許したまえ	紙・木版	38.0×45.0	1965
33	"	深き淵より	"	57.5×72.5	1966
34	"	浄夜	"	50.0×70.0	1968
35	"	寓話	"	"	1969
36	"	赤い闇 2	"	80.0×55.0	1970
37	"	闇のコンポジション A	"	"	"
38	"	" C	"	"	"
39	"	深い闇 I	"	55.0×55.0	1971
40	"	暗い予感	"	50.0×70.0	"
41	"	終りの部屋 4	"	55.0×50.0	"
42	"	失なわれた楽園 5	"	80.0×55.0	1972
43	"	暗号の森 2	"	55.0×80.0	1973
44	"	時の軌跡	"	80.0×55.0	1981
45	"	黒の軌跡	"	"	"

○ 企画展「和歌山の作家たちⅣ」

会 期 8月12日～8月23日（毎週火曜日休館）

当館所蔵品のうちから、我が国の版画史上に大きな足跡を遺した逸見享、裕伊之助、浜口陽三、吉田政次の作品を展示した。（入場者 892人）

出品目録

No.	作者	作品名	材質・形状	寸法	制作年
1	浜口 陽三	洋梨とぶどう	紙・ドライポイント	28.0×37.0	1951
2	"	うさぎ	紙・メゾチント	15.0×20.0	"
3	"	魚と果物	"	29.0×39.0	1954
4	"	スペイン風油入れ	"	28.5×28.5	"
5	"	ジプシー	"	29.0×29.0	"
6	"	クローバーの実	"	29.5×29.0	1957
7	"	あざみ	"	29.5×39.5	"
8	"	水差しとぶどうとレモン	"	29.5×34.5	"
9	"	ざくろ	"	29.5×44.0	1958
10	"	ういきょう	"	29.0×44.0	"
11	"	雲	"	26.0×49.0	"
12	"	毛糸と編棒	"	23.3×53.8	1962
13	吉田 政次	地の泉 No.1	紙・木版	56.0×82.5	1956
14	"	哀愁の日	"	59.0×43.5	"
15	"	憂愁の空 No.2	"	43.5×72.0	1957
16	"	相対性絵画 No.1	"	155.0×312.0	1959
17	"	" No.5	"	157.0×157.0	"
18	"	静寂 No.1	"	155.0×155.0	"
19	"	空間 No.5	"	155.0×158.0	1960
20	"	" No.17	"	57.0×57.0	1962
21	"	" No.44	"	"	1965

22	吉田 政次	空間 No.48	紙・木版	57.0×57.0	1965
23	"	ミニとデモの時代 No.1	"	87.0×72.0	1968
24	"	躍動する心 No.1	"	79.0×70.0	"
25	"	青春の輝き No.2	"	87.0×72.0	1969
26	逸見 享	森田氏の顔	"	15.2×10.6	1918
27	"	幸福な海女の群	"	19.5×15.2	1919
28	"	二月	"	13.4×18.1	1922
29	"	風景	"	16.5×22.5	1927頃
30	"	夜汽車	"	16.5×13.5	1928
31	"	食卓	"	13.5×10.6	"
32	"	静物	"	30.2×37.8	"
33	"	上海風景	"	23.9×30.8	"
34	"	風景（河畔への道）	"	27.5×33.6	1930頃
35	"	海村風景	"	22.3×28.9	1931
36	"	サボテンのある風景	"	43.6×33.4	1932
37	"	サボテン	"	44.0×30.9	1933
38	裕 伊之助	ヴァンサンヌ公園	"	23.5×29.5	1928頃
39	"	南仏の田舎娘	"	39.0×29.5	"
40	"	朝顔	紙・石版	74.2×53.5	1935
41	"	大きなパルミエ	"	52.0×69.0	"
42	"	鐘楼	"	50.0×65.6	"
43	"	夏の夜	"	40.0×29.0	1955

○ 企画展「新収蔵作品を中心として」

会 期 1月6日～2月13日（毎週火曜日休館）

昭和57年度新収蔵作品を中心とした館蔵作品を展示した。展示作品は、洋画6点・日本画10点・彫刻5点・版画15点。同時に特別陳列として、中林忠良の版画45点を展示した。（入場者 1,612人）

出品目録

No.	作者	作品名	材質・形状	寸法	制作年
〔洋画〕					
1	木下 孝則	猫	油彩・キャンバス	50.0×58.7	1926
2	宇佐美圭司	水族館の中の水族館 2	"	185.0×270.0	1967
3	小野木 学	風景	"	131.0×131.0	1970
4	村井 正誠	風の中の除幕式	"	193.0×259.0	1968
5	高井 貞二	黄と縞	"	177.0×308.0	1963
6	玉置 正敏	洪水と男	"	162.0×390.0	1968
〔日本画〕					
7	稗田 一穂	幻想那智	紙・彩色	212.0×170.0	1979
8	"	帰り路	"	193.5×166.5	1981
9	杉田勇次郎	麓庵	絹・彩色	170.5×195.2	1927
10	徳力富吉郎	人形	"	39.7×51.2	"
11	八田 高容	八坂之雪	"	169.0×69.5	1922
12	土田 麦僊	梅ヶ畑村	"	145.0×50.8	1915
13	伊藤 草白	葡萄之図	"	42.0×51.5	1925
14	山口八九子	月ヶ瀬梅溪之図	"	144.0×55.9	1921

15	野長瀬 晩花	島の女	絹・彩色	145.0×51.5	1916
16	秦 テルヲ	吉原の女	彩色・寒冷紗	134.5×44.5	1920
〔彫刻〕					
17	建島 大夢	夢	ブロンズ	h.168	1939
18	保田 春彦	36cm立方体	ステンレス	360.0×360.0×360.0	1970
19	〃	閉ざされた祠 (マケット)	ステンレス (2基1対)	各48.3×14.7×20.7	1974
20	土谷 武	向かい風 IV	鉄・木	h.157	1981
21	建島 覚造	MANJ (マケット)	ステンレス	h.56.5	〃
〔版画〕					
22	浜口 陽三	パンとコーヒーわかし	紙・メゾチント	29.0×36.0	1960
23	〃	暗い背景のぶどう	紙・カラーメゾチント	35.0×30.0	1961
24	〃	ういきょう	紙・メゾチント	29.0×44.0	1958
25	駒井 哲郎	小さな幻映	紙・アクアチント、エッチング	5.4×12.9	1950
26	〃	果実の受胎	紙・アクアチント、エッチング、ドライポイント	26.2×35.8	1959
27	〃	星座	紙・アクアチント	26.8×36.3	1962
28	浜田 知明	首	紙・エッチング、アクアチント	15.3×14.8	1951
29	〃	風景	〃	36.2×29.8	1953
30	〃	人	紙・エッチング、アクアチント	28.8×16.3	1956
31	深沢 幸雄	神話	紙・エッチング、メゾチント他	36.6×36.2	1958
32	〃	繫縛	紙・エッチング、アクアチント他	36.6×36.6	1959
33	〃	新しい夜	〃	36.5×34.0	1961
34	小野木 学	風景 S.H.B	紙・シルクスクリーン	40.0×49.5	1971
35	〃	風景 N.E.P	〃	49.0×36.0	1972
36	〃	風景 L.U.D	〃	57.5×57.5	1975
〔中林忠良の版画〕					
1	中林 忠良	姨捨て	紙・エッチング、アクアチント	14.0×9.0	1962
2	〃	萌ゆる芽 (カオスの中から)	〃	27.5×36.3	1963
3	〃	磯からの便り II	紙・エッチング、ソフトグラウンドエッチング、アクアチント、ドライポイント	45.0×39.7	1966
4	〃	〃 III	紙・エッチング	45.0×37.3	〃
5	〃	深夜の来客	紙・ドライポイント	9.7×12.0	〃
6	〃	夜明けの風に I	紙・ドライポイント、メゾチント	12.4×13.5	〃
7	〃	深き淵より	紙・エッチング、ドライポイント	42.6×51.2	1967
8	〃	人碑	紙・エッチング、アクアチント、ドライポイント	56.7×42.4	〃
9	〃	華	紙・エッチング、ドライポイント	32.0×51.6	〃
10	〃	1969-2 O氏の肖像のうち絆 2	紙・エッチング、ソフトグラウンドエッチング	42.9×54.8	1969
11	〃	1969-6-1.2	紙・エッチング、アクアチント	39.8×57.6	〃
12	〃	1969-14 異端への傾斜 I	〃	42.4×57.6	〃
13	〃	“白い部屋より” 薄明	〃	36.4×49.9	1970
14	〃	“ ” 連なる風景	〃	42.3×88.2	1971
15	〃	又は地平はるかに	紙・エッチング、アクアチント、メゾチント	40.9×51.7	〃
16	〃	“白い部屋より” 暁闇一怠惰な地平	紙・エッチング、アクアチント	42.4×51.7	1972
17	〃	剥離される風景 I (花宴)	紙・エッチング、アクアチント、メゾチント	42.6×52.0	〃
18	〃	〃 II	〃	47.4×60.0	〃
19	〃	〃 III	〃	55.0×50.0	〃
20	〃	〃 IV	〃	54.6×49.9	〃

21	中林 忠良	囚われる風景 I	紙・エッチング、アクアチント、メゾチント	45.4×56.7	1973
22	〃	〃 III	〃	〃	〃
23	〃	〃 VI	〃	〃	〃
24	〃	〃 VII	〃	〃	〃
25	〃	〃 VIII	〃	〃	〃
26	〃	囚われる日々 I	〃	〃	1974
27	〃	〃 II	〃	〃	〃
28	〃	〃 VI	紙・エッチング、アクアチント	〃	〃
29	〃	〃 VII	〃	〃	〃
30	〃	囚われる日々一払暁	〃	28.8×24.8	〃
31	〃	暗界の譜	〃	45.4×56.7	〃
32	〃	夜の碑	〃	〃	〃
33	〃	師駒井哲郎に捧ぐ・碑	紙・エッチング、アクアチント	26.2×21.3	1976
34	〃	Position '77-2	〃	56.6×44.9	1977
35	〃	〃 '77-5	〃	〃	〃
36	〃	〃 '77-9	〃	49.6×49.7	〃
37	〃	Transposition・転位III	〃	57.0×45.2	1979
38	〃	〃・転位 I	〃	50.0×50.0	1980
39	〃	〃・転位 II	〃	49.6×49.7	〃
40	〃	Position '80 腐飾 II	〃	44.8×65.4	〃
41	〃	〃 '80 腐飾 IV	〃	56.7×44.9	〃
42	〃	〃 '81 腐飾 II	紙・エッチング	44.8×65.4	1981
43	〃	転位 '82—地—I (冬)	紙・エッチング、アクアチント	57.0×49.0	1982
44	〃	〃 II (秋)	〃	〃	〃
45	〃	〃 III	〃	〃	〃

○ 特別展「イタリア美術の一世紀展」◁1880—1980▷

会期 7月14日～8月8日 (毎週火曜日休館) (入場者 8,905人/有料 8,195人)

主催 和歌山県立近代美術館・毎日新聞社

後援 イタリア文化財省・イタリア大使館・イタリア外務省・外務省・文化庁・国際交流基金

ルネサンス以来、世界美術界の中心の一つとして位置づけられているイタリアは、明治から今日に至るわが国の美術界に大きな影響を与えた。特に戦後の彫刻をはじめとする清新なイタリア現代美術の動向は、イタリアに学んだ多くの日本人作家に強い影響を与え、また、全世界より注目を集めている。

今回の展覧は、イタリア文化財省・同大使館の協力のもとに、イタリア近現代美術史上の傑作101点を展示し、1880年から100年にわたるイタリア美術の全貌を紹介した。

出品目録

No.	作者	作品名	材質・形状・寸法	制作年
1	ジョヴァンニ・ファットーリ	石割り工夫と牛のみえる	キャンバス・油彩	1890頃
		並木道	141.0×87.0	
2	テオフィロ・パティニーニ	相続人	キャンバス・油彩	1880
			72.0×103.0	
3	アントニオ・マンチーニ	書齋にて	キャンバス・油彩	1874～76
			51.5×66.0	

4	フランチェスコ・パオロ・ミケッティ	キリスト聖体節(コルプス・ドミニ)のための習作	キャンバス・油彩	80.5×51.5	1877
5	ヴィンチェンツォ・ジェミト	ラックアイオロ(水売り)	ブロンズ	h.55.0	1880~81
6	"	婦人座像	"	55×34×25	1882
7	トランクイッロ・クレモナ	いとこ同志	キャンバス・油彩	86.0×65.0	1870
8	ダニエレ・ランゾーニ	白い服の少女	キャンバス・油彩	53.0×40.5	1887
9	ジュゼッペ・グランディ	ネー元帥	ブロンズ	30×12	1874~75
10	"	少年ベートーヴェン	"	91×31×70	1887
11	メダルド・ロッソ	失業中の歌手	"	27×9×7.5	1882
12	"	街燈の下の恋人たち	"	28.5×25.5×26.5	1883
13	"	アンリ・ルアールの肖像	"	97×60×37	1889頃
14	"	庭園の会話	"	32×66.5×41.5	1896
15	"	この子を見よ	"	42.5×33.5×23	1906
16	ジョヴァンニ・コスタ	香ぐわしい松林に沈む夕陽の口づけ	キャンバス・油彩	23.0×48.0	1890
17	ジュリオ・アリストイデ・サルトーリオ	マラリア	キャンバス・油彩	60.0×131.0	1905頃
18	"	緑の深淵	キャンバス・油彩	59.0×135.0	1890
19	ヴィットーレ・グルビシイ・デ・ドラゴン	三重奏曲	キャンバス・油彩	33.5×25.0 44.5×36.0 31.8×24.0	1889~96頃
20	ジョヴァンニ・セガンティーニ	五月のアルプス	キャンバス・油彩	54.5×86.5	1891
21	ガエタノ・プレヴィアーティ	阿片を喫う女たち	キャンバス・油彩	80.0×150.0	1887
22	"	ダンス	キャンバス・油彩	165.0×117.0	1908
23	ジュゼッペ・ベッリッツァ・ダ・ヴォルペード	行列	キャンバス・油彩	83.0×159.0	1892~95
24	"	太陽	キャンバス・油彩	153.0×153.0	1904
25	ジャコモ・バルラ	労働者の一日	厚紙・油彩	50.0×64.5 49.5×64.5 101.0×74.0	1904~6
26	ウンベルト・ボッチョーニ	ポルタ・ロマーナの作業場	キャンバス・油彩	75.0×145.0	1908
27	ルイジ・ルッソーロ	稲妻	キャンバス・油彩	102.0×102.0	1909~10
28	レオナルド・ピストルフィ	芳香	ブロンズ	96×25×30	1917頃
29	ドゥイリオ・カンベッロッティ	野牛	"	h.27.0 d.51.0	1910
30	ウンベルト・ボッチョーニ	優雅ならざるもの	キャンバス・油彩	80.0×79.5	1912

31	ウンベルト・ボッチョーニ	馬の造形的形態	キャンバス・油彩	40.0×40.0	1914
32	"	空間の中の連続するユニークな形態	ブロンズ	h.110.5	1913
33	カルロ・カッラ	カフェ・シャンタン	紙・木炭	75.0×50.0	1912
34	ジーノ・セヴェリーニ	自画像	キャンバス・油彩	55.0×46.0	"
35	"	娘——通り——大気	厚紙・パステル	64.0×52.0	1913
36	アルデンゴ・ソッフィチ	春の村のジンテーゼ	キャンバス・油彩	71.0×71.0	"
37	ジャコモ・バルラ	自動車のリズム+騒音+スピード	キャンバスを貼った紙・テンペラ	64.5×72.5	1914頃
38	"	風景+西瓜の気持ち	キャンバスを貼った紙・テンペラ	55.0×76.0	1917頃
39	アメデオ・モディリアニ	白い襟の婦人	キャンバス・油彩	55.0×38.0	1917
40	カルロ・カッラ	形而上学的静物	キャンバス・油彩	51.0×46.0	1919
41	"	ロトの娘たち	キャンバス・油彩	110.0×80.0	"
42	ジョルジョ・モランディ	静物	キャンバス・油彩	53.5×57.5	"
43	ジョルジョ・デ・キリコ	ヘクトールとアンドロマケ	キャンバス・油彩	98.0×75.5	1924頃
44	"	母との自画像	キャンバス・油彩・油性テンペラ	64.7×54.7	1921
45	"	部屋の中の神殿と森林	キャンバス・油彩	130.0×97.0	1927頃
46	フェリーチェ・カゾラーティ	女と甲冑	キャンバス・油彩	147.0×145.0	1921
47	"	マネキンのある静物	キャンバス・油彩	87.0×68.0	1924
48	マリオ・シローニ	弟子	キャンバス・油彩	96.0×75.0	1922~24
49	"	郊外	キャンバス・油彩	58.0×75.0	1922頃
50	カルロ・カッラ	射撃場	キャンバス・油彩	75.0×85.0	1928
51	ジョルジョ・モランディ	静物	キャンバス・油彩	30.0×60.0	1928~29
52	"	風景	キャンバス・油彩	61.5×47.0	1928
53	アルトゥーロ・マルティーニ	若者の胸像	セメント	h. 76.0	1927
54	"	アテナ女神の雛形	ブロンズ	h. 126.0	1934
55	"	マレンマの男	"	h. 65.0	1939

56	マリノ・マリーニ	盲目の人	ブロンズ h. 55.0	1928
57	"	水浴の女	石 h. 83.0	1935~38
58	ジャコモ・バルラ	愛しあう数字	キャンバス・油彩 77.0×55.0	1926
59	ニコライ・ディウルゲロフ	姉妹	厚紙・油彩 49.5×74.0	1922頃
60	フィッリーア(ルイジ・コロ ンボ)	機械的な偶像	板・油彩 80.0×100.0	1926頃
61	エンリコ・ブランボリーニ	素材とのインタビュー	木材の上に油彩とさまざまな素 材 100.0×80.0	1930
62	ファウスト・メロッチェ	彫刻 No.21	スチール製 h. 55.0	1935
63	アタナシオ・ソルダティ	コンポジション	キャンバス・油彩 65.0×35.0	1938頃
64	オズヴァルド・リチーニ	不安定な人	キャンバス・油彩 24.0×18.5	1932頃
65	"	灰色を地にしたさまよえ るオランダ人	キャンバス・油彩 50.0×66.0	1941
66	シピオーネ(ジーノ・ボニキ)	ふり返る男たち	キャンバス・油彩 100.0×80.0	1930
67	マリオ・マファイ	長椅子に横たわる裸婦	板・油彩 98.0×145.0	1933
68	ペリクレ・ファッツィーニ	立っているアニタの像	木(梨) h. 140.0	1938~39
69	ジャコモ・マンズ	枢機卿	ブロンズ h. 53.0	1937~38
70	"	キリストと将軍	" 72.0×51.0	1942~47
71	レナード・グットウーツ	母の肖像	板・油彩 63.5×53.5	1939頃
72	"	シチリアの御者	キャンバス・油彩 75.5×80.0	1946
73	ジュリオ・トゥルカート	集会	キャンバス・油彩 161.0×216.0	1946頃
74	エミリオ・ヴェードヴァ	自由の三つの折り絵	キャンバス・油彩 135.0×62.0(三枚のパネル)	1949
75	ジュゼッペ・カボグロッシ	表面 117	キャンバス・油彩 81.0×116.0	1954
76	"	" 354	キャンバス・油彩 116.0×80.0	1959
77	アルベルト・ブッリ	黒	布・合成土・油彩 100.0×150.0	1954
78	"	鉄	ハンダ付けされた鉄 50.0×100.0	1958
79	"	プラスチックの赤PN18	キャンバスに支えられたプラス チック 200.0×181.0	1964
80	エットレ・コルラ	ピグマリオン	鉄 h. 202.0	1955頃
81	ルーチョ・フォンターナ	空間概念	キャンバス・銀紙 80.0×80.0	1952
82	"	空間概念一期待	キャンバス 91.0×73.5	1959頃

83	フランチェスコ・ロ・サヴィ オ	フィルター	金属製の網 100.0×120.0	1960
84	エンリコ・カステッラーニ	表面	キャンバス・釘 80.0×60.0	"
85	ジャンニ・コロンボ	脈動	ポリステロール・木・モーター 120.0×120.0	1959
86	ダヴィデ・ボリアーニ	磁性のある表面	アルミ・ガラス・鉄粉・モータ ー 64×60×18	1959~62
87	アルベルト・ピアージ	光と影の投射	プロジェクター・電動ランプ 60×60×60	1961~62
88	ミンモ・ロテッラ	虎	キャンバス・新聞紙 108.0×84.0	1962
89	マリオ・チェーロリ	影	木 195×120×427	1965
90	マリオ・スキファアーノ	未来派再来	キャンバス・プラスチック 170.0×345.0	1967
91	ピエロ・マンゾーニ	線	箱・紙・インク 9m, 19.11m	1959
92	ピーノ・パスカーリ	憩うディノザウロス	キャンバス・木 120×200×90	1966
93	"	毛髪	アクリル系繊維 120×165×165	1968
94	ミケランジェロ・ピストレッ ト	井戸	グラスファイバー・鏡 h.100 d.170	1966
95	ヤンニス・クーネリス	石炭箱	石炭・鉄 28×155×125	1967
96	ジルベルト・ゾリオ	無題	タイヤ・セメント 285.0×39.0	"
97	ジュゼッペ・ベノーネ	木	木 475×20×15	1968~69
98	ジュリオ・パオリーニ	ミメーシス	石膏 30×65×50	1975
99	オーマル・ガッリアーニ	真珠取り	キャンバス・油彩・厚紙 190.0×200.0	1980
100	ニコラ・デ・マリア	宇宙を包み込む絵画	キャンバス・油彩 180.0×250.0	1980~81
101	ブルーノ・ベヌッツィ	ヨーロッパ	ベニヤ板・エナメル 220.0×260.0	1981

○ 特別展「稗田一穂展」

会期 10月3日~10月26日(毎週火曜日休館) (入場者 4,035人/有料 3,373人)

主催 和歌山県立近代美術館

本県田辺市出身で、東京芸術大学日本画科教授の稗田一穂は、日本画の有力団体である創画会を中心に活躍し、今日の日本画壇を支える重要な作家として知られているが、今回の展覧は、この稗田一穂の東京美術学校在学中の作品から今日に至るまでの作品73点を展示し稗田芸術の全貌を紹介した。

出品目録

No.	作品名	材質・形状	寸法	制作年	所蔵者・展覧会名
1	初夏の庭	絹・彩色・屏風	103.2×196.3	1936	
2	温室	絹・彩色・額	73.1×97.9	1937	

3	霜の朝	紙・彩色・額	86.0×176.3	1940	
4	昼の波止場	"	149.5×127.0	1942	第6回大日本海洋展
5	午後	"	231.0×188.7	1943	卒業制作・川端賞受賞
6	東北の秋	"	180.0×124.8	1946	第1回日展
7	羽黒の御塔	"	198.4×127.0	1947	第3回日展
8	秋の風景	"	100.0×87.0	1949	第3回現代美術総合展
9	鳥	"	112.1×162.0	"	第2回創造美術展奨励賞受賞
10	魚の群れ	"	162.5×145.5	1950	第3回創造美術展 北九州市立美術館蔵
11	鸚鵡と花	"	53.0×73.0	1951	第3回創造美術春季展
12	みみづく	"	160.8×112.0	"	第15回新制作協会展
13	そよ風	"	158.2×142.0	"	"
14	湿地	"	91.0×62.0	"	サンパウロ・ビエンナーレ展 北九州市立美術館蔵
15	奇異鳥	"	58.3×89.5	1952	新制作春季展、東京国立近代美術館蔵
16	LAKE SIDE	"	60.0×49.5	"	日本現代美術展
17	豹のいる風景	"	158.8×141.8	"	第16回新制作協会展
18	くまたか	"	72.7×53.1	1953	新制作春季展
19	青柳のかげに	"	165.0×229.0	"	第17回新制作協会展
20	からす	"	80.5×52.8	1955	新制作春季展
21	かんむりづる	"	147.2×162.5	"	第3回日本国際美術展
22	ふさほろほろ鳥	"	80.5×53.0	1956	新制作春季展
23	汀	"	130.0×97.5	"	第2回現代日本美術展
24	鷺と岩	"	145.2×112.3	"	"
25	荒原	"	157.0×142.0	"	第20回新制作協会展
26	磯	"	65.0×80.0	1958	新制作春季展
27	羽博	"	97.2×145.3	"	第3回現代日本美術展
28	蛾	"	80.5×65.0	1959	新制作春季展
29	羽化	"	155.0×112.4	"	第5回日本国際美術展
30	囁く鳥達	"	112.0×161.8	1961	第6回日本国際美術展
31	睨	"	170.0×120.0	"	第25回新制作協会展
32	水影	"	112.2×145.7	1962	第5回現代日本美術展
33	流翳	"	162.1×112.1	"	第26回新制作協会展、本館蔵
34	薄氷	"	145.5×112.1	1963	第7回日本国際美術展
35	流淵	"	136.0×235.5	1964	第28回新制作協会展 東京国立近代美術館蔵
36	凍雪	"	72.5×91.0	1966	新制作春季展
37	月影	"	162.3×146.7	"	第7回現代日本美術展
38	寂光	"	242.4×142.4	"	第30回新制作協会展
39	凍流	"	162.0×112.3	1968	第8回現代日本美術展
40	雨昏	"	80.0×60.0	"	新制作春季展
41	月昂	"	162.0×227.0	1969	第33回新制作協会展
42	小漣	"	141.0×242.0	1970	第34回新制作協会展、本館蔵
43	幻映	"	142.3×242.7	1971	第35回新制作協会展

44	流紋	紙・彩色・額	142.4×303.5	1972	第36回新制作協会展 東京都美術館蔵
45	春恨	"	91.0×73.0	1973	新制作春季展
46	花精	"	206.0×181.0	"	第37回新制作協会展 東京芸術大学蔵
47	蒼壁	"	100.8×81.0	1974	新制作春季展
48	夕輝	"	117.5×86.7	"	第1回遊星展
49	月下	"	229.0×178.0	"	第1回創画展、本館蔵
50	月響	"	145.4×97.0	1976	第3回遊星展
51	朧春	"	91.0×117.0	"	山種美術館蔵
52	磯風	紙・彩色・屏風	130.0×193.6	"	
53	舞う雪	紙・彩色・額	71.8×90.5	"	
54	夏野	"	80.4×100.0	"	山種美術館蔵
55	首夏	"	80.4×116.7	1977	第4回遊星展
56	海の詩	"	162.4×227.2	"	第4回創画展、福岡市美術館蔵
57	花冷え	"	91.0×117.0	1978	第4回春季創画展
58	群鶴	"	155.7×237.0	"	第5回創画展
59	蒼穹	"	116.5×80.0	1979	第6回遊星展
60	幻想那智	"	212.0×170.0	"	第6回創画展、本館蔵
61	凍流	絹・彩色・屏風	171.0×730.0	1980	
62	柳糸の月	紙・彩色・額	90.9×116.7	"	
63	浮雲	絹・彩色・額	105.0×80.3	"	
64	春の雪	"	100.0×80.3	"	
65	時雨る雪	紙・彩色・額	100.0×72.7	"	
66	惜春	紙・彩色・屏風	174.0×372.0	"	山種美術館蔵
67	雨気	紙・彩色・額	73.2×117.2	"	第7回遊星展
68	夏去る	"	193.5×172.5	"	第7回創画展、本館蔵
69	湖雪	"	80.5×116.8	1981	第7回春季創画展
70	耀る海峡	"	74.0×116.5	"	第8回遊星展
71	帰り路	"	193.5×166.5	"	第8回創画展
72	雨晴海岸	"	108.0×91.0	1982	第8回春季創画展
73	孔雀	"	121.5×95.5	"	第9回遊星展

※他に下絵・小下絵・デッサン

3. 共催展覧会

○ 第20回和歌山県美術家協会展

和歌山県美術家協会々員による総合美術展で、日本画など7部門を二期に分けて開催すると共に、生花を除く6部門の選抜作品により、串本町で移動美術展を開催した。

会 期 第1期=6月17日～21日(洋画、彫塑、写真) 第2期=6月24日～28日(日本画、工芸、書、生花) 串本展=7月2日～5日(生花を除く各部門選抜作品/会場・串本町立体育館)
主 催 和歌山県美術家協会、和歌山県立近代美術館、串本町教育委員会(串本展) / 後 援 朝日新聞和歌山支局、和歌山県立近代美術館友の会、串本町(串本展)

○ 第36回和歌山県美術展覧会「県展」

県民の美術に関する愛好心と鑑賞力を啓発し、創作意欲の昂揚を図り、本県における美術文化の向上発展に資するために開催する恒例の公募展。(第15回県民文化祭参加)

会 期 第1期=11月11日～15日(生花、書、彫塑)
第2期=11月18日～22日(日本画、工芸、写真)
第3期=11月25日～29日(洋画)
新宮展=12月10日～12日(各部門選抜/生花を除く) 会場・新宮市民会館
主 催 和歌山県教育委員会、和歌山県立近代美術館、毎日新聞和歌山支局、新宮市教育委員会(新宮展)
主 管 和歌山県美術家協会 / 後 援 和歌山県、新宮市(新宮展)

応募点数・入選(入賞)点数・展示点数(本展)

区 分	応募点数(人員)				入選(入賞)点数				無鑑査以上の出品点数				総展示点数			
	35回展	36回展	35回展	36回展	特選賞	奨励賞	無鑑査	招待	審査員	35回展	36回展	35回展	36回展	35回展	36回展	
生 花	31 (31)	20 (20)	31 (31)	20 (20)	4	4	1	1	3	5	4	5	7	8	45	38
彫 塑	17 (15)	17 (16)	17 (15)	17 (16)	4	4	1	1	6	4	3	4	6	6	32	31
書	170 (170)	173 (173)	149 (149)	153 (153)	4	4	10	10	30	32	21	20	14	14	214	219
日 本 画	64 (64)	75 (75)	52 (52)	61 (61)	4	4	4	4	8	12	10	10	9	9	79	92
工 芸	62 (46)	72 (54)	42 (42)	43 (43)	4	4	3	3	8	10	9	10	6	6	65	69
写 真	214 (108)	209 (116)	116 (72)	117 (80)	4	4	8	8	3	4	7	6	10	10	136	137
洋 画	348 (209)	361 (215)	151 (151)	148 (148)	4	4	13	13	25	27	42	45	20	20	238	240
計	906 (643)	927 (669)	558 (512)	559 (521)	28	28	40	40	83	94	96	100	72	73	809	826

(新宮地方展)

区 分	一 選				入 賞				無 鑑 査		招 待		審 査 員		合 計	
	35回展	36回展	35回展	36回展	35回展	36回展	35回展	36回展	35回展	36回展	35回展	36回展	35回展	36回展	35回展	36回展
日 本 画	0	1	5	5	1	1	0	0	8	8	14	15				
洋 画	30	26	5	7	3	1	7	6	19	20	64	60				
彫 塑	0	0	2	3	1	1	0	0	3	3	6	7				
工 芸	2	4	0	0	0	1	0	0	1	1	3	6				
書	15	19	4	5	5	4	2	3	14	14	40	45				
写 真	2	5	10	8	1	1	1	1	10	10	24	25				
計	49	55	26	28	11	9	10	10	55	56	151	158				

○ 第16回和歌山県立近代美術館友の会展

和歌山県立近代美術館友の会活動の一環として、各実技講座で制作した作品等によるアマチュアの総合美術展。

会 期 2月17日～2月21日(洋画、日本画、写真、陶芸)
主 催 和歌山県立近代美術館友の会、和歌山県立近代美術館 / 後 援 和歌山県美術家協会

4. 貸館展覧会

会 期	名 称	概 要	展 示 室
4月1日～4月5日	黎明クラブ写真展	写真/明楽光三郎主宰	第一展示室
〃	東紅会書展	書/女性同好グループ	第二展示室
8日～12日	和歌山大学総合美術展	絵画・写真・書/和歌山大学	第一展示室
〃	有人クラブ写真展	写真/同好グループ	第二展示室
15日～19日	和歌山市医師会美術展	絵画・書など/和歌山市医師会グループ	第一展示室
〃	和歌山大学絵画部4回生展	洋画/和歌山大学4回生	第二展示室
22日～26日	葵フォトグループ写真展	写真/亀忠男主宰	第一展示室
〃	グループ「しつ」展	漆芸/漆芸同好グループ	第二展示室
29日～5月3日	五月会展	洋画/和歌山師範学校卒業生らで結成	第一展示室
〃	律の会展	洋画/斎田武夫主宰	第二展示室
5月6日～10日	和歌山独立クラブ展	洋画/和歌山独立クラブ	第一展示室
〃	勝和会水墨画展	水墨画/同好グループ	第二展示室
13日～17日	創作刺繍作品展	刺繍/高野澄子主宰	第一展示室
〃	水葉会水墨展	水墨画/水葉会	第二展示室
20日～24日	和歌山書人会同人展	書/和歌山書人会同人	第一展示室
〃	木国写真友会展	写真/島村安彦主宰	第二展示室
27日～31日	エトアール洋画展	洋画/エトアール洋画会	第一展示室
〃	和大絵画部2・3回生展	洋画/和歌山大学2・3回生	第二展示室
6月3日～6月7日	洋画12人展	洋画/同好グループ	第一展示室
〃	和興会書道展	書/山本興石主宰	第二展示室
10日～14日	第35回示現会和歌山巡回展	洋画/中央展選抜作品と支部会員の作品	全 館
7月1日～7月5日	和歌山県書道協会展	書/和歌山県書道協会	一/二/四
8日～11日	グループ旺美展	洋画/グループ旺美	第一展示室
〃	県下高等学校書道科教員展	書/県下高等学校書道科教員	第二展示室
8月12日～8月16日	紀州美術会展	洋画/紀州美術会	第一展示室
〃	ネイティブ展	洋画・彫刻/同好グループ	第二展示室
〃	グループ「波」展	洋画/グループ「波」	第四展示室
19日～23日	青甲会展	洋画/青甲会	第一展示室
〃	県下高等学校美術・工芸科教員展	洋画・彫刻・陶芸/県下高校美術・工芸科教員	第二展示室
〃	猿の会日本画展	日本画/海南市亀川公民館日本画教室OB	第四展示室
26日～29日	第11回和歌山版画協会展	版画/和歌山版画協会	第一展示室
〃	青樹会日本画展	日本画/青樹会	第二展示室
〃	毎日文化教室洋画部展	洋画/毎日文化教室洋画部	第四展示室
9月2日～9月5日	第15回和歌山県勤労者美術展	日本画等7部門/勤労者による公募展	全 館
9日～13日	秀蘭会展	日本画/寺口関山主宰	第一展示室
〃	和歌山県高等学校総合芸術祭書道展	書/和歌山県高等学校書道教育研究会	二/三/四
16日～20日	第22回旺玄会和歌山支部展	洋画/旺玄会和歌山支部	第一展示室
〃	和歌山県文化賞名匠表彰受賞者展	絵画・彫刻など/県文化賞名匠表彰受賞者	二/三/四

9月22日～9月27日	和歌山県いけばな協会展	いけばな／和歌山県いけばな協会	全館
12月3日～12月6日	第24回花王展	絵画・写真など／花王石鹼和歌山工場	一／二／四
9日～13日	和歌山県高等学校総合芸術祭写真展	写真／県下高校写真連盟加盟校	第一展示室
〃	日曜画家展	洋画／和歌山日曜画家グループ	第二展示室
〃	グループプリミティブ展	絵画／県出身美大OBグループ	第四展示室
16日～20日	和歌山県高等学校総合芸術祭美術展	絵画・彫刻／県高校教育研究会美術部会	一／二／四
23日～27日	読者の写真コンクール写真展	写真／全日本写真連盟和歌山県本部	第一展示室
〃	和歌山大学絵画部展	洋画・彫刻／和歌山大学絵画部	二／三／四
1月6日～1月10日	かつらぎ写友会展	写真／かつらぎ写友会	第一展示室
〃	星墨会展	書／県立星林高校書道部OB	第四展示室
13日～17日	ひまわり会展	洋画／県警察職員絵画グループ	第一展示室
〃	A C T展	洋画／小中学校美術教員グループ	第四展示室
20日～24日	和墨展	書／和歌山大学書道部	第一展示室
〃	和歌山ステーション絵画教室展	洋画／和歌山ステーション絵画教室	第四展示室
27日～31日	オークレイ展	絵画／田中善弘主宰	第一展示室
〃	グループ彩展	洋画／新世紀美術和歌山グループ	第四展示室
2月3日～2月7日	和歌山県高等学校商業美術展	ポスター・デザイン／県商業教育研究会	第一展示室
〃	花王石鹼絵画・写真合同展	洋画・写真／花王石鹼絵画・写真部	第四展示室
10日～14日	集団「無限」写真展	写真／有田地方写真同好グループ	第一展示室
〃	拓正会和歌山教室展	拓画／拓正会和歌山教室	第四展示室
17日～21日	和歌山大学卒業制作展	洋画・彫刻／和歌山大学	第一展示室

◎ 2月23日から3月28日まで、当館展示室の壁面クロスの張り替え及び展示室ドアの改装工事を実施した。

5. 普及活動

○ 「美術館だより」

「美術館だより」は、館の公報紙として、館主催及び共催展覧会の紹介と解説、美術に関する論文及び随筆、友の会行事案内、活動報告、和歌山の美術文化関係ニュース、各種美術展だより等を掲載し、毎月1日発行している。発行部数は2,000部。

号	発行月日	主要記事
196号	4月1日	企画展「和歌山の作家たちⅠ」 昭和57年度県立近代美術館主催・共催展覧会案内
197号	5月1日	館蔵作品展「和歌山の作家たちⅡ」 館蔵作品展「和歌山の作家たちⅢ」3人展
198号	6月1日	日本からみた近代イタリア美術（本間正義） 県美術家協会の理事及び常任理事改選 第20回県美術家協会展日程表
199号	7月1日	「イタリア美術の一世紀展」開催にあたって 館蔵作品展「現代版画の8人」 離任ごあいさつ（伊藤正也） 新任ごあいさつ（野口照彦）
200号	8月1日	戦中戦後の頃（稗田一穂） 館蔵作品展「和歌山の作家たちⅣ」 昭和56年度新収蔵作品の紹介1 第36回県展開催要項きまる 審査員・運営委員名簿
201号	9月1日	稗田一穂のことば 昭和56年度

新収蔵作品の紹介2 友の会洋画部写生旅行「橋杭岩周辺を描く」

202号	10月1日	「稗田一穂展」開催にあたって（仲田耕三）
203号	11月1日	光安院の文学作品の美（和高伸二） 第36回県展日程表
204号	12月1日	第36回県展・栄光の記録 中国訪問旅行記（奥鈴雄） 県文化賞、文化功労賞及び文化奨励賞受賞者紹介
205号	1月1日	年のはじめに（前田敏郎） 美術文化発展を期して（玉井一郎） 新春随感（齋田武夫） 企画展「館蔵作品展Ⅴ—新収蔵作品を中心として—」 中国訪問旅行記(II)(岩下敏也) 友の会新春交歓パーティ 友の会展開催要項特別陳列「中林忠良の版画」
206号	2月1日	友の会展案内 自然博物館写生会案内
207号	3月1日	移動美術館開催にあたって 和歌山県立近代美術館協議会正・副会長改選 県立近代美術館友の会・県美術家協会の会費納入について

〔以上の主要記事のほか、毎号「友の会行事案内」及び「美術展だより」を掲載〕

○ 「友の会活動」

県立近代美術館友の会は、アマチュアのアート愛好家で組織し、県民の美的素養の向上に寄与する活動を行っている。昭和40年10月発足。現会員数1,011人（普通会員954人・賛助会員57人）（行事毎に期日、〈テーマ〉、講師、参加人員の順に記載）

〔美術鑑賞講座〕

4月11日 〈仏像の見方について〉
仲田耕三 15人

5月9日	「日本近代銅版画展」鑑賞 熊田司学芸員 5人
7月18日	特別展「イタリア美術の一世紀展」鑑賞 仲田耕三 35人
10月11日	特別展「稗田一穂展」鑑賞 三木哲夫 18人
11月7日	「紀州の武具展」鑑賞 小田誠太郎学芸員 10人

1月9日 <新収蔵作品の紹介>
 和高伸二 20人

〔洋画実技講座〕

4月11日 <桃畑のある風景を描く(貴志川)>
 小川英夫 46人

5月9日 <春の洋画写生大会(紀伊風土記の丘)>
 山本龍昇・倉田純三 52人

6月20日 <初夏の海岸風景を描く(和歌浦)>
 若林昌峰 42人

7月18日 <港湾風景を描く(築港周辺)>
 仙石光重 42人

8月8日 <夏の根来寺を描く>
 小川英夫 35人

9月11日 <橋杭岩周辺を描く(串本町)>
 ・12日 益山英吾・中村貞二 40人

10月17日 <初秋の平池周辺を描く(貴志川)>
 宮村泰彦 45人

11月21日 <竜門山及び紀ノ川周辺を描く(岩出)>
 倉田純三 40人

12月5日 <静物(花・果物)を描く>
 松下英雄 21人

1月9日 <静物画>
 鈴木善次郎 25人

2月20日 <人物画及び静物画>
 宮村泰彦 36人

3月20日 <静物画>
 前田 博 17人

〔日本画実技講座〕

4月11日 <山水画の基本>
 寺口関山 24人

5月30日 <山水画の基本>
 寺口関山 34人

6月13日 <一筆画の描き方>
 下村紫皐 60人

7月18日 <一筆画の描き方>
 下村紫皐 62人

8月22日 <一筆画の描き方>
 下村紫皐 54人

9月19日 <一筆画の描き方>
 下村紫皐 54人

10月17日 <秋色の琴ノ浦温山荘を描く>
 下村紫皐 37人

11月21日 <写生仕上げを中心として>
 下村紫皐 44人

12月19日 <一筆画の描き方>

下村紫皐 47人

1月16日 <一筆画の描き方>
 下村紫皐 47人

2月20日 <一筆画の描き方>
 下村紫皐 50人

3月20日 <一筆画の描き方>
 下村紫皐 48人

〔写真実技講座〕

4月11日 <春の撮影会(和歌山公園)>
 全写連県本部委員 20人

4月25日 <月例コンテストと作品指導>
 島村安彦 21人

5月23日 <月例コンテストと作品指導>
 島村安彦 20人

6月27日 <月例コンテストと作品指導>
 東 義行 20人

7月25日 <月例コンテストと作品指導>
 東 義行 16人

” <和歌浦風景を撮る>
 東 義行 14人

8月22日 <月例コンテストと作品指導>
 亀 忠男 15人

9月19日 <月例コンテストと作品指導>
 亀 忠男 21人

10月10日 <月例コンテストと作品指導>
 五十嵐靖郎 12人

17日 <秋のモデル撮影会>
 全写連県本部委員 14人

11月14日 <月例コンテストと作品指導>
 五十嵐靖郎 15人

12月12日 <月例コンテストと作品指導>
 木村太郎 17人

1月9日 <月例コンテストと作品指導>
 木村太郎 19人

2月10日 <橋杭岩の夕景と水門神社の祭事を撮る>
 ・11日 西川高三 15人

2月27日 <月例コンテストと作品指導>
 西川高三 17人

3月20日 <月例コンテストと作品指導>
 西川高三 15人

〔陶芸実技講座〕

初級講座=手びねりによる陶芸作品制作
 上級講座=電動ロクロ等による陶芸作品制作

4月11日 <作品制作> 吉増達夫・山本学 38人

4月25日 <焼成> 吉増達夫 35人

5月9日 <作品制作> 吉増達夫・山本学 32人

5月22日 <焼成> 吉増達夫 30人

6月13日 <作品制作> 吉増達夫・山本学 49人

6月26日 <焼成> 吉増達夫 45人

8月29日 <作品制作> 吉増達夫・山本学 44人

9月5日 <作品制作> 山本 学 16人

9月12日 <作品制作> 吉増達夫 20人

9月25日 <焼成> 吉増達夫 40人

10月3日 <作品制作> 吉増達夫 11人

10月10日 <作品制作> 山本 学 25人

10月23日 <焼成> 吉増達夫 30人

12月11日 <越前焼見学バスツアー>
 ・12日 吉増達夫・山本学 27人

1月9日 <作品制作> 吉増達夫・山本学 34人

1月22日 <焼成> 吉増達夫 30人

2月6日 <作品制作> 吉増達夫 16人

2月11日 <作品制作> 山本 学 10人

2月19日 <焼成> 吉増達夫 25人

3月6日 <作品制作> 吉増達夫 11人

3月13日 <作品制作> 山本 学 11人

3月26日 <焼成> 吉増達夫 20人

〔チャリティー美術展〕

国際障害者年を契機に障害者福祉の一助として、
 「チャリティー美術展」を開催し、収益金を社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会へ寄附した。

会期 7月24日・25日/会場 紀ノ国会館

〔美術鑑賞ツアー〕

10月24日 <中国—その歴史と美術を訪ねる旅>
 ~31日 (上海・桂林・北京) 23人

6. 昭和57年度所蔵作品

○ 購入作品

No.	作者	作品名	材質・形状	寸法	制作年	出品展覧会
	〔洋画〕					
1	宇佐見圭司	水族館の中の水族館 2	油彩・キャンバス	185.0×270.0	1967	第36回ヴェネツィア ビエンナーレ展
2	小野木 学	風景	〃	131.0×131.0	1970	
3	木下 孝則	猫	〃	50.0× 58.7	1926	
	〔日本画〕					
4	杉田勇次郎	麓 庵	絹本彩色(二曲一隻)	170.7×195.2	1927	第6回国画創作協会展
5	徳力富吉郎	人 形	紙本彩色	39.7× 51.2	〃	第6回国画創作協会展 (樗牛賞)
6	稗田 一穂	帰り路	〃	193.5×166.5	1981	第8回創画会展
	〔彫刻〕					
7	建島 大夢	夢	ブロンズ	h.168.0	1939	第13回文展
8	土谷 武	向かい風 IV	鉄・木	h.157.0	1981	
9	保田 春彦	36cmの立方体	ステンレス	36×36×36	1970	個展
10	〃	閉ざされた祠(マケット)	ステンレス(二基一対)	各48.3×14.7×20.7	1974	現代彫刻20展
	〔版画〕					
11	畦地梅太郎	満州国、街の家	木版・紙	23.7× 32.7	1943	
12	石井 鶴三	日本風景版画	〃	16.7× 23.5	1920	
13	〃	日本アルプス 三ッ岳付近	〃	16.8× 23.5	〃	
14	〃	日本アルプス 槍ヶ岳	〃	16.9× 23.5	〃	
15	〃	日本アルプス 穂高岳	〃	〃	〃	
16	〃	日本アルプス 白馬岳雪渓	〃	16.8× 23.5	〃	
17	小野木 学	風景 S.H.B	シルクスクリーン・紙	40.0× 49.5	1971	
18	恩地孝四郎	裸形のくるしみ III	木版・紙	20.0× 8.0	1914	
19	〃	おさむるものと地の哀傷	〃	14.5× 12.5	1915	
20	〃	とふものつけるもの	〃	16.5× 12.5	〃	
21	〃	そらよりくだるかげ	〃	12.4× 10.8	〃	
22	〃	抒情5種	〃	14.4× 12.5	〃	
23	〃	太陽額に照る 抒情5種 生はさみし夜半 目ざめて涙ながれながる	〃	12.5× 12.5	〃	

24	恩地孝四郎	抒情5種 くるしみの うち懐に入るものあり	木版・紙	12.6× 9.1	1915	
25	〃	抒情5種 苦悩のうちに光る	〃	13.6× 8.4	〃	
26	〃	抒情5種 あかるい時	〃	13.5× 9.7	〃	
27	〃	抒情 いとなみ祝福せらる	〃	13.7× 9.6	〃	
28	〃	抒情 相信ずるころ	〃	13.5× 9.5	〃	
29	〃	抒情 慈に泪す	〃	13.8× 9.5	〃	
30	〃	抒情 躍る	〃	13.4× 9.8	〃	
31	〃	抒情5種のうち わかれとのぞみ 1	〃	15.2× 12.2	〃	
32	〃	抒情5種のうち わかれとのぞみ 2	〃	13.5× 9.8	〃	
33	〃	抒情5種のうち わかれとのぞみ 3	〃	13.8× 9.7	〃	
34	〃	抒情5種のうち わかれとのぞみ 4	〃	13.7× 9.8	〃	
35	〃	抒情5種のうち わかれとのぞみ 5	〃	〃	〃	
36	〃	画集『幸福』近頃	〃	32.0× 21.0	1917	
37	〃	白昼浴	〃	20.0× 14.0	1923	
38	〃	失 題	〃	29.0× 24.0	1925	
39	〃	九段薄暮	〃	28.4× 19.0	1926	
40	〃	失 題	〃	28.4× 21.7	1927	
41	〃	人体考察 No.4 頸	〃	16.0× 12.5	1929	
42	〃	人体考察 No.5 肩	〃	14.5× 16.0	〃	
43	〃	人体考察 No.6 胸	〃	15.0× 10.0	〃	
44	〃	人体考察 No.7 顔	〃	18.0× 14.0	〃	
45	〃	水 浴	〃	21.1× 14.4	〃	
46	〃	顔	〃	18.0× 24.0	〃	
47	〃	黒葡萄切り鉢	〃	20.0× 27.0	1931	
48	〃	新日本百景 鎌倉	〃	19.0× 28.0	1938	
49	〃	芽ぐむ花	〃	28.8× 24.0	1946	
50	加納 光樹	翼子感	インタリオ・紙	67.0× 33.5	1961	第6回日本国際美術展 (優秀賞)
51	〃	PENINSULAR I	メタルプリント・紙	75.0× 55.0	1967	
52	川上 澄生	春の伏兵	木版・紙	23.5× 33.0	1924	第4回国画会展
53	〃	震災前横浜山手之図(二)	〃	18.0× 26.0	昭和初期	
54	〃	看 板	〃	20.1× 14.0	1929	
55	〃	しん板 あねさまづくし	〃	21.0× 16.0	〃	
56	川西 英	遊 歩	〃	10.6× 13.2	〃	
57	木村 秀樹	Pencil 2-3	シルクスクリーン・紙	70.0×100.0	1974	第9回東京国際版画 ビエンナーレ展(京 都国立近代美術館賞)

58	駒井 哲郎	小さな幻映	エッチング他・紙	5.4× 12.9	1950	第19回日本版画協会展
59	"	夢の推移	メゾチント・紙	12.5× 15.5	"	第27回春陽会展
60	"	果実の受胎	エッチング他・紙	26.2× 35.8	1959	第36回春陽会展
61	"	星座	アクアチント・紙	26.8× 36.3	1962	第31回日本版画協会展
62	諏訪 兼紀	日比谷小景	木版・紙	13.0× 17.5	1929	
63	"	風景	"	17.1× 12.6	"	
64	田中 恭吉	光	"	14.1× 8.5	1914	
65	"	五月の呪ひ	"	15.7× 10.7	1914(1929)	
66	徳力富吉郎	壺	"	15.7× 11.1	1929	
67	中林 忠良	嫉捨て	エッチング他・紙	14.0× 9.2	1962	
68	"	萌ゆる芽(カオスの中から)	"	27.5× 36.3	1963	
69	"	磯からの便り II	"	45.0× 39.7	1966	第7回現代日本美術展
70	"	磯からの便り III	エッチング・紙	45.0× 37.3	"	第34回日本版画協会展
71	"	深夜の来客	ドライポイント・紙	9.7× 12.0	"	
72	"	夜明けの風に I	メゾチント他・紙	12.4× 13.5	"	
73	"	深き淵より	エッチング他・紙	42.6× 51.2	1967	
74	"	人 碑	"	56.7× 42.4	"	
75	"	華	"	32.0× 51.6	"	
76	"	O氏の肖像のうち絆 2	エッチング・紙	42.9× 54.8	1969	
77	"	1969—6—1・2	エッチング他・紙	39.8× 57.6	"	
78	"	異端への傾斜 I	"	42.4× 57.6	"	第38回日本版画協会展
79	"	白い部屋、より薄明	"	36.4× 49.9	1970	第39回日本版画協会展
80	"	連なる風景又は地平はるかに	"	42.3× 88.2	1971	
81	"	暁闇—怠惰な地平—	"	40.9× 51.7	"	
82	"	白い部屋24時	"	42.3× 51.7	1972	第3回版画グラフィック展
83	"	剝離される風景 I(花宴)	"	42.3× 51.7	"	"
84	"	剝離される風景 II	"	47.4× 60.0	"	
85	"	剝離される風景 III	"	55.0× 55.0	"	第8回東京国際版画 ビエンナーレ展
86	"	剝離される風景 IV	"	54.6× 49.9	"	"
87	"	囚われる風景 I	"	45.4× 56.7	1973	第4回版画グラフィック展 (グランプリ受賞)
88	"	囚われる風景 III	"	"	"	第10回リュブリアナ国 際版画ビエンナーレ展
89	"	囚われる風景 IV	"	"	"	第5回クラコウ国際 版画ビエンナーレ展
90	"	囚われる風景 VII	"	"	"	
91	"	囚われる風景 VIII	"	"	"	
92	"	囚われる日々 I	"	"	1974	第1回スペイン国際 版画ビエンナーレ展
93	"	囚われる日々 II	"	"	"	第11回日本国際美術展
94	"	囚われる日々 VI	"	"	"	
95	"	囚われる日々 払暁	"	28.8× 24.8	"	

96	中林 忠良	師駒井哲郎に捧ぐ碑	エッチング他・紙	26.2× 21.3	1976	
97	"	Position '77-2	"	56.6× 44.9	1977	第1回版画大賞展
98	"	" '77-5	"	"	"	
99	"	" '77-9	"	49.6× 49.7	"	第46回日本版画協会展
100	"	Transposition 転位 II	"	"	1980	第48回日本版画協会展
101	"	Position '80 腐蝕 I	"	44.8× 65.4	"	第14回リュブリアナ国 際版画ビエンナーレ展
102	"	" '80 腐蝕 IV	"	56.7× 44.9	"	"
103	"	" '81 腐蝕 II	エッチング・紙	44.8× 65.4	1981	第4回ベルギー国際 版画ビエンナーレ展
104	"	転位 '82—地—I(冬)	エッチング他・紙	57.0× 49.0	1982	第14回日本国際美術展 (和歌山県立近代美術館)
105	"	" '82—地—II(秋)	"	"	"	
106	"	" '82—地—IV	"	"	"	
107	野田 哲也	日記 1970年5月21日(b)	木版他・紙	44.5× 44.7	1970	
108	"	" 1976年2月15日	"	46.5× 75.0	1976	第12回リュブリアナ国 際版画ビエンナーレ展 (グランプリ受賞)
109	浜口 陽三	西瓜二切	メゾチント・紙	29.0× 29.0	1954	
110	"	ぶどうと洋梨	"	23.5× 54.0	1956	
111	"	かわらなでしこ	"	9.7× 7.5	1960	
112	"	やどかり	"	"	"	
113	"	パンとコーヒーわかし	"	29.0× 36.0	"	
114	"	黒い背景のぶどう	カラーメゾチント・紙	35.0× 30.0	1961	
115	"	九つの貝	メゾチント・紙	47.7× 62.2	1974	
116	"	貝	カラーメゾチント・紙	7.0× 7.0	"	
117	"	ぶどう	"	"	"	
118	"	あじさい	"	6.0× 6.0	"	
119	"	サクランボ	"	"	"	
120	"	テントウ虫	"	5.0× 5.0	"	
121	"	蝶	"	"	"	
122	"	ぶどうの房	"	10.5× 17.0	1979	
123	"	パトリックのさくらんぼ	"	7.5× 7.5	1980	
124	浜田 知明	首	エッチング他・紙	15.3× 14.8	1951	第5回美術団体連合展
125	"	風景	"	36.2× 29.8	1953	第17回自由美術展
126	"	人	"	28.8× 16.3	1956	
127	平塚 運一	牛久保付近	木版・紙	18.5× 27.5	1924	
128	"	裸 婦	"	29.0× 19.5	1925	
129	"	きつつき	"	11.2× 6.8	1929	
130	"	のげし	"	17.5× 12.5	"	
131	深沢 索一	蕪	"	19.7× 13.3	"	
132	深沢 幸雄	神 話	エッチング他・紙	36.6× 36.2	1958	
133	"	繫 縛	"	36.6× 36.6	1959	第3回シェル美術賞展
134	"	新しい夜	"	36.5× 34.0	1961	

135	深沢 幸雄	黒い火花	エッチング他・紙	22.3× 35.6	1961	
136	"	洞窟	"	59.8× 35.8	1966	
137	"	悠久に続く赤い線	"	74.8× 50.0	1971	
138	藤森 静雄	裸婦	木版・紙	23.9× 16.9	1928(1929年)	
139	前川 千帆	百姓	"	18.7× 11.3	1929	
140	"	野外小品 望遠鏡	リノカット・紙	12.8× 12.7	"	
141	"	野外小品 パラスル	"	13.0× 12.7	"	
142	"	野外小品 旗	"	12.8× 12.6	"	
143	"	野外小品 蝸星座	"	13.0× 13.0	"	
144	"	野外小品 酒	"	12.8× 12.9	"	
145	前田藤四郎	時計	"	26.5× 34.0	1933	第3回日本版画協会展
146	保田 春彦	作品集(5点組)	シルクスクリーン・紙	各25.0×25.0	1972	
150						
151	李 禹煥	作品	木版・紙	52.0× 70.0	1973	
152	"	点より・線より(8点組)	リトグラフ・紙	各40.0×54.0	1977	
159						
160	若林 奮	作品集(10点組)	"	各34.0×52.0	1975	
169						

○ 寄贈作品

No.	作者	作品名	材質・形状	寸法	制作年	出品展覧会
【日本画】						
1	稗田 一穂	東北の秋	紙本彩色	180.0×124.8	1946	第1回日本美術展
2	"	鳥	"	112.1×162.0	1949	第2回創造美術展 (奨励賞)
3	"	そよ風	"	158.2×142.0	1951	第15回新制作協会展
4	"	汀	"	130.0× 97.5	1956	第2回現代日本美術展
5	"	羽化	"	155.0×112.4	1959	第5回日本国際美術展
6	"	囁く鳥達	"	112.0×161.8	1961	第6回日本国際美術展
7	"	薄氷	"	145.5×112.2	1963	第7回日本国際美術展
【彫刻】						
8	建島 覚造	ORGAN No.16	アルミニウム	h. 42.5	1967	第9回アントワープ 国際彫刻ビエンナーレ 国内展
9	"	MANJI (マケット)	ステンレス	h. 56.5	1981	
10	"	MANJI	"	h. 270.0	1982	ミキモトプラザ彫刻展
【版画】						
11	恩地孝四郎	底のくるしみ	木版・紙	13.3× 13.4	1914	
12	"	抒情II	"	20.3× 14.1	"	
13	"	抒情VIII(われいかる)	"	19.4× 13.6	"	
14	"	抒情XI(のぞみすてず)	"	19.6× 13.4	"	

15	建島 覚造	CHIMNEY BOTTLES	シルクスクリーン・紙	38.0× 49.3	1971	
16	"	LANDSCAPE	"	38.0× 54.1	1977	
17	"	LANDSCAPE	"	"	"	
18	"	LANDSCAPE	"	"	"	
19	"	斜塔	"	54.1× 38.0	"	
20	"	斜塔	"	"	"	
21	田中 恭吉	そこにのみかがやくひかり	木版・紙	9.2× 9.2	1914	
22	"	ひそめるもの	"	20.6× 15.2	"	
23	野田 哲也	日記、1971年5月15日	木版他・紙	44.0× 44.0	1971	
24	藤森 静雄	群雀(年賀状)	木版・紙	14.0× 9.0	1913	
25	"	夜のピアノ	"	14.8× 15.0	1914	
26	"	ピアノと木	"	12.8× 12.2	"	
27	"	こころのかげ	"	17.5× 9.2	"	
28	"	妹は病みぬ	"	19.6× 9.0	"	
29	"	わがかげ	"	13.3× 13.5	"	
30	横尾 忠則	版画集「聖シャンバラ」 火其地	オフセット他・紙	86.0× 57.5	1974	第9回東京国際版画 ビエンナーレ展 (兵庫県立近代美術館賞)
31	"	版画集「聖シャンバラ」 土其地	"	"	"	
32	"	版画集「聖シャンバラ」 土其天	"	"	"	
【水彩】						
33	田中 恭吉	風景(絵葉書)	水彩・紙	9.1× 14.1	1912	
【デッサン】						
34	石垣栄太郎	デッサン(197点)	鉛筆、インク・コンテ・紙	各43.5×35.5		
230						
231	建島 覚造	デッサン(22点)	鉛筆、インク・紙	各36.5×25.5		
252						

7. 所蔵品貸出状況

貸出先	展覧会名・会期	貸出作品	種別	点数
山種美術館	第5回現代日本画の10人展 57.4.17～5.30	稗田一穂《夏去る》	日本画	1点
西宮市大谷記念美術館	日本近代銅版画展 57.4.24～5.23	浜口陽三《月島》《ジ ブシー》他10点	版画	12点
宮城県美術館	大正期日本画の新動向展 57.5.20～8.10	野長瀬晩花《島の女》 《門つけ》 秦輝男《桃 割れの女》	日本画	3点
東京国立近代美術館	アメリカに学んだ日本の画家たち 一國吉・清水・石垣・野田とアメ リカン・シーン絵画展 57.7.24～9.5（東京展） 57.9.14～10.11（京都展）	石垣栄太郎《街》《拳 闘》《ボーナス・マー チ》《K・K・K》《恐 怖》	洋画	5点
和歌山県文化振興課	県民文化祭15周年記念「和歌山県 文化表彰・名匠表彰受賞者」展 57.9.16～9.20	川口軌外《地維》《ホ ヘミアン》 裕伊之助 《ブザンソン風景》 《スイトピー》 浜口 陽三《糸と編棒》 《赤い鉢と黒いさくら んぼ》	洋画 版画	6点
三重県立美術館	日本近代の洋画家たち展 57.10.28～11.21	石垣栄太郎《ボーナス ・マーチ》 村井正誠 《パンチュールNo.3》	洋画	2点
京都市美術館	近代日本の自画像展 57.11.3～11.28	石垣栄太郎《自画像》 原勝四郎《道化》 村 井正誠《自画像・太い 線》 保田龍門《自画 像》 野長瀬晩花《夢 ばかりみている男》	洋画 日本画	5点
ヘンリー杉本画伯後援会	ヘンリー杉本回顧展 57.11.30～12.2	ヘンリー杉本《カーメ ルハイランド海辺》《セ ーナ河畔》他10点	洋画	12点
福井県立美術館	土岡秀太郎と北荘・北美と現代美 術展	川口軌外《地維》《日 傘と人》 村井正誠 《母と子》《母子像》	洋画	4点

8. 県立近代美術館協議会委員

氏名	住所	備考
会長 玉井 一郎	和歌山市吹上2-6-47	
副会長 齋田 武夫	和歌山市西浜1052-9	
委員 明楽光三郎	海南市日方582	
” 梅田 善彦	和歌山市堀止西2丁目11-6	
” 榎本 長平	田辺市新庄町377	
” 糟谷 圭増	和歌山市西浜1-1-8	
” 島村 安彦	和歌山市堀止東1丁目1の6	
” 島 正博	和歌山市今福1-3-22	
” 杉本 義夫	新宮市船町2-6-6	
” 高橋 正司	伊都郡かつらぎ町妙寺902	
” 村田慶之輔	大阪府高槻市日吉台4-14-55	
” 室谷 文男	和歌山市園部152-8	
” 山口 信郎	海南市日方1273-7	
” 脇村正太郎	田辺市栄町52	
” 和中 光次	和歌山市和歌浦西1-7	

9. 県立近代美術館職員構成

館長	前田敏郎
次長	野口照彦
調査員	中尾充
	(事業課)
課長事務取扱	中尾充
主査	松下勝行
芸員	三木哲夫
”	仲田耕三
非常勤嘱託	和高伸二
	(庶務課)
課長	吉田禎之
主査	三宅慎
主事	羽賀明

和歌山県立近代美術館年報

昭和57年度

昭和59年3月31日 印刷

昭和59年4月1日 発行

編集・発行

和歌山市小松原通1丁目1番地

和歌山県立近代美術館

印刷

和歌山市中之島920番地

白光印刷有限会社